

令和6年度 年間指導計画・評価規準

学年	3年	教科	数学科
----	----	----	-----

1. 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期考査 ● 単元テスト ● 小テスト ● 課題などの提出物 ● ワークシート ● 授業中の発言や作業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期考査 ● 単元テスト ● 小テスト ● 課題などの提出物 ● ワークシート ● 授業中の発言や作業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期考査 ● 単元テスト ● 小テスト ● 課題などの提出物 ● ワークシート ● 授業中の発言や作業 ● ノート

2. 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
I	4 5	多項式	19	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用 	<p>【知】簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</p> <p>【思】文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。</p> <p>【主】式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	5 6	平方根	16	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・混合をふくむ計算 ・平方根の利用 	<p>【知】数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。</p> <p>【思】これまでに学んだ文字式の計算などに関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。</p> <p>【主】数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	6 7	2次方程式	15	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の利用 	<p>【知】平方の形に変形したり、解の公式を用いたり、因数分解を利用したりして2次方程式を解くことができる。</p> <p>【思】平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</p>

令和6年度 年間指導計画・評価規準

				【主】2 次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2	9 10	関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> ・関数$y=ax^2$ ・関数$y=ax^2$の性質の調べ方 ・いろいろな関数の利用 	<p>【知】関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</p> <p>【思】関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>【主】関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	10 11	相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> ・相似な図形 ・平行線と比 ・相似な図形の面積と体積 	<p>【知】平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</p> <p>【思】三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめたり、平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめたりすることができる。</p> <p>【主】相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	11 12	円	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理 ・円周角の定理の利用 	<p>【知】円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</p> <p>【思】円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。</p> <p>【主】円周角の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	12 1	三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 	<p>【知】三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</p> <p>【思】三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</p>
3			13	

令和6年度 年間指導計画・評価規準

	1	標本調査	3	・標本調査	<p>【主】三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p> <p>【知】コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</p> <p>【思】簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</p> <p>【主】標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	2 3	学習のまとめ	24		